

第2回 福光地域統合小・中学校設置協議会（会議記録）

【日時】令和8年8月24日（月） 開会：午後7時00分 閉会：午後7時54分

【場所】南砺市役所 別館3階大ホール

【出席委員】 得能 金市 委員 井口 一彦 委員 戸成 博宣 委員
酒井 由美子 委員 水口 賢 委員 森田 清仁 委員
高谷 和弘 委員 石黒 裕子 委員 藤田 稔 委員
松井 昌美 委員

【欠席委員】 なし

【事務局員】 教育長 松本 謙一 教育部長 氏家 智伸
教育総務課長 片田 健一 教育総務課副参事 金谷 諭
教育総務課副主幹 北島 一朗 教育総務課副主幹 青能 順子
教育総務課主任 井上 健

【傍聴者】 3名

【会議要点】

1 開会 委員長挨拶 得能委員長

2 報告事項

・第1回協議会（令和8年6月25日）議事録について

3 組織について

（1）各部会からの提案、各部会の進捗状況と今後の見通し

①校名等選定部会

②総務部会

③事務・施設部会

④教育課程部会

・校名等選定部会から校名案の選定について提案を行い、同部会の提案のとおり、校名案の公募を進めることで決定した。

・その他の部会からは、所掌事項の進捗状況を報告した。

（2）その他

4 第3回設置協議会について 令和8年10月下旬に開催

5 閉会 副委員長挨拶 井口副委員長

【会議記録詳細】

1 開会 委員長挨拶

(委員長)

本日が2回目の会議です。各部会で審議いただいていると思いますが、部会からの報告をしっかりと検討し、協議を重ねていくことが、今後の指針になります。本日も充実した審議を行いたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。

2 報告事項

・第1回協議会（令和8年6月25日）議事録について

資料1に沿って、第1回協議会の会議要点を説明した。

(委員からの質疑応答なし)

3 協議事項について

(1) 各部会からの提案、各部会の進捗状況と今後の見通し

①校名等選定部会

(A副委員長)

7月13日に、第1回校名等選定部会を開催しました。前回の第1回設置協議会で、統合校の校名案は公募で実施することをご了承いただきましたので、具体的にどのように公募を進めるかについて、部会内で検討しました。公募案については、大きく4つのポイントがあります。

一つ目は、「選定手順」についてです。まず、事後報告になりますが、資料2の別添1のとおり、事前周知を行いました。広報紙と一緒に配布し、今秋に校名案の公募を始めることを、福光地域の方々にお知らせしました。

さて、公募に係る具体的なことですが、公募する際は、「自由記述方式」で募集することにしました。部会内では、いくつかの校名案の候補を提示する方式も検討されましたが、その候補自体を決定することが困難であることや、意見が偏る懸念があったことから、自由な意見を広く募るために、自由記述形式としました。

さらに、注意点として、応募数の多さだけで校名案を決定するものではないということを住民の皆様にも周知いたします。例えば、募集時期あたりに突発的なブームなどが発生し、いわゆるキラキラネームや当て字のような名称が多数を占めた場合、校名案の本来の趣旨から外れてしまう懸念があります。そのため、ご意見は広く受け止めつつ、最終的な決定はこの設置協議会で行うという旨を、募集要項に明記します。

二つ目は、「対象者」についてです。部会での検討の結果、対象者は「福光地域在住者」としました。ただし、児童・生徒及びその保護者には、福光地域外から福光地域の小中学校に通学されている方も含まれるため、対象とする予定です。対象をあえて福光地域に限定する

理由としては、募集範囲を広げすぎると、福光の歴史や文化を日々感じておられるお住まいの方々の貴重なご意見が埋もれてしまう懸念があるためです。

三つ目は、「選定基準」についてです。資料2の別添2をご覧ください。設置協議会が校名案を選定するに当たり、4つの選定基準を設け、応募される方にもこの基準に沿った校名案を提案していただくよう周知します。4つの選定基準及びその基準を設定した理由は、資料2の別添2に記載のとおりです。その4つの選定基準を、公募に際して皆様に周知したいと思います。

四つ目は、「応募様式及びその方法」についてです。具体的な募集方法につきましては、資料2の別添3をご覧ください。福光地域の統合小学校と統合中学校の校名案募集については、9月の全戸配布で募集用紙を折り込む予定です。応募期間や応募方法などの応募要領の詳細は、資料2の別添3のとおりです。

なお、校名決定までのスケジュール案としては、12月中に校名案を1つに決定し、1月にパブリックコメントを実施します。そして、2月に議会に提出する校名案を決定し、3月の市議会で承認をいただく予定としております。

以上、校名等選定部会からの提案です。ご審議のほどよろしくお願いします。

（委員E）

公募の集計結果や応募実績の実数などは、一般に公開されるものなのでしょうか。

（事務局）

応募数や具体的な数値をホームページ等で一般公表することは考えていませんが、この設置協議会で審議を行う際には、当然、公募結果を報告資料として提出します。そして、設置協議会資料は公開されますので、そこで公募の結果が公表されるという形になります。

（委員長）

ほかにご意見もないようですので、それでは、校名等選定部会の提案のとおり、校名案の募集をお願いします。

②総務部会

（B副委員長）

資料3をご覧ください。総務部会は、これまで2回開催しています。第1回の総務部会では、制服や運動服については保護者の意見を聞くこと、また、スクールバスの運行については、教育委員会において素案を作成し、今後の部会で協議することとしました。

第2回の総務部会では、制服等に関する保護者向けアンケートの調査項目や内容について吟味しました。第2回の協議結果をもとに、アンケート項目を決定し、8月10日以降、保護者にオンラインで順次配信しています。資料3の別添1は、アンケートの詳細を掲載した

もので、オンライン配信の内容をそのまま記載しています。なお、「このアンケートの結果は総務部会で協議するための参考とするものであり、単純な多数決で決定するものではない」という旨を明記しています。回答期限は8月30日ですので、それを待ってから、次のステップに進みたいと思います。

統合校の通学路とスクールバスの運行については、教育委員会から提示される素案を基に、引き続き部会で協議することとしています。

(委員F)

協議会が始まって以降、私自身も保護者の方々から意見を聞きましたが、多くの皆さんが共通して不安視されていたのは、制服等の初期費用についてでした。アンケート案や部会での検討内容を拝見すると、保護者の不安や経済的負担に十分に配慮した内容になっていたことで、みなさんも安心できると思いました。

(委員長)

現実的な問題ですので、現行のものを活用できる期間を設ける、あるいは、切替えの時期をいつにするかといった点を含め、このアンケート結果を基に方針を決定することになると思います。

(委員H)

制服・運動服に関する保護者の不安はよく分かりました。一方で、統合に当たっては、教育長からは、「新しい学校を作る」と言われています。アンケート案では、例えば運動服は、福光中部小学校・吉江中学校のものを継続使用する案になっていますし、女子の制服のスカーフは吉江中学校の緑色をそのまま使用する方向の設問となっています。

校舎を利用する学校のものをそのまま継続使用することになると、新しさが分かりづらく、片方に吸収されてしまったような雰囲気も出てきますので、新たに検討できるところは検討いただければと思います。例えば、セーラー服のスカーフの色を変更するだけであれば、それほど経費もかからず雰囲気を変えられると思います。また、夏場は暑くて子どもたちもベトベトになるので、新しくポロシャツにすることもご検討いただければありがたいです。

(委員長)

まだ最初の方針決めの段階ですので、いただいたご意見を踏まえながら、総務部会でしっかりと議論を深めていただきたいと思います。まずは、総務部会からご報告いただいた方向性で進めていただければと思います。

③事務・施設部会

(委員H)

7月16日に第1回事務・施設部会を開催し、備品及び文書の統合校への移転スケジュールを確認しました。その後、統合校で必要になる物品数を精査の上、各学校の備品を確認して、統合校に移転する物品をリストアップしているところです。

吉江中学校の改修工事については事務局から説明します。

(事務局)

吉江中学校校舎の改修工事について説明します。統合中学校は吉江中学校の校舎を使いますが、必要な教室数などが増えますので、開校に向けて必要となる改修工事を令和9年度に実施する予定です。スケジュールや改修工事の主な概要は、資料4に記載のとおりです。

(委員F)

毎年PTA活動等で、ほかの保護者と一緒に校舎の掃除をしています。設計上の問題なのかもしれませんが、屋上の水はけでいつも苦労しています。安全上、屋上にも降りられないので、そのあたりも見えていただきたいです。

(委員長)

今は内部改修の話が主ですが、校舎が建設されてからまもなく30年が経過するので、外部の防水対策も新たに施さないと持ちません。その点もしっかりチェックしてほしいと思います。

また、駐車場が完全に足りません。駐車場スペースもギリギリですので、余裕を持ったスペースでないと事故が起きるので、もう少し考えないといけないと思います。

(事務局)

今回の改修工事につきましては、令和10年4月の開校に向け、まずは室内の教育環境を整える第1期工事として位置付けています。ご指摘いただきました屋上の防水対策や、タイル張りなどの特殊な改修が必要となる外壁部分の工事については、別途設計を行う予定なので、ご理解いただきたいと思います。また、屋上がなかなか清掃ができないということについても、予算付けも含めて専門業者への委託による対応を考えております。

(委員長)

吉江中学校はレイアウトがギリギリで、共有スペースもあまりありません。構造的な問題とレイアウトの問題もしっかりと考えていただきたいと思います。

④教育課程部会

(委員 I)

7月16日に第1回教育課程部会を開催しました。部会では、校訓及び学校教育目標や教育課程に関する今後の協議内容、そのスケジュールについて確認を行いました。

校訓及び学校教育目標の策定については、部会での意見交換実施し、次のように進めております。まず、福光地域の教育の伝統を大切にしながら、教育の専門性を活かして各校長が協力して原案を作成します。この原案をもとに、9月下旬に開催予定の第2回教育課程部会において部会員からご意見をいただき、部会案としてまとめます。その後、10月の第3回設置協議会でお諮りする予定です。

(2) その他

(委員 G)

福光中部小学校はオープン式のレイアウトです。しかし、児童数がどんどん減少し、オープン式にしても意味がないような教育環境になりました。今回統合するに当たり、箱型の教育になるかどうかをお聞きしたいです。その当時、私たちは箱型のほうが先生方も指導しやすいのではないかと考え、オープン式には反対しましたが、教育委員会の方針でオープン式が導入された経緯があり、当時から疑問を抱いておりました。統合後の新しい学校においては、どのような教育環境を目指していくのか、その方向性について教えてください。

(教育長)

箱形にもオープン式にも、どちらにもよい面があります。だからこそ、「全てを箱型にする」あるいは「全てをオープン式にする」と決めるのではなく、それぞれのよさをどのように活かしていくかについて、柔軟に校長先生や部会の先生で考えていただこうと思っています。

場合によっては、学年の枠を超えて一緒にやる場合も出てきます。どちらかに決めるといっても、それも含めてこの部会で協議いただき、これまでの福光のよさを更に活かしながらも、大事なところは修正していけば、よい学校ができると思います。

(委員長)

防犯の観点もしっかり設計に入れてください。また、吉江中学校はレイアウトが狭いので、それをどうやって解消するかもしっかり議論していきたいと思います。

また、今の吉江中学校を建てたときにも、オープン式にするのかどうか大変な議論になりました。本来の教育とはどういうものか、しっかり考えていただかないといけないと思いますので、現場の話を十分に聞いて進めてください。

4 第3回設置協議会について

事務局から、10月下旬の開催で調整する旨を伝えた。

5 副委員長挨拶

(A副委員長)

本日は、貴重なご意見を賜り、誠にありがとうございました。個人的な思いとしますと、校名等選定部会の提案をご承認いただき、大変ほっとおります。今後は、いよいよ地域の皆様へという段階に入ります。委員長はじめ、部会の皆様と教育委員会と連携を図りながら、確かなものに積み上げていきたいと考えております。

次回以降、さらに具体的な協議事項が増えてくるかと思いますので、委員の皆様におかれましては、引き続き忌憚のないご意見をお聞かせいただければと思っております。

本日は長時間にわたってご協議いただき、ありがとうございました。